

動画で見る
有害鳥獣の習性と捕獲の基礎知識

(株)野生鳥獣対策連携センター

猟具に関する基礎知識

主な捕獲方法

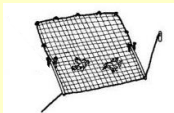
わなを用いる



銃を用いる



網を用いる



はこわな(檻)・囲いわな(柵)

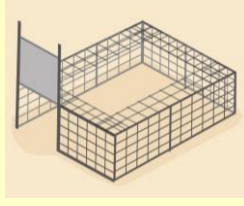
▼ わなの中に入れた獲物が、仕掛けを動かすことで扉が閉まる仕組み

【はこわな】



天井部が閉じている

【囲いわな】



天井部が半分以上開いている

□十分な拘束力と強度のあるものを選びましょう。



強度の目安

- ・鋼線の径がΦ6mm以上
- ・接合部分が外れない
- ・振動で緩みやすいネジ等がない etc.

目合いのサイズについて考える



強度のある構造について考える



オスイノシシの捕獲 (90.5kg)

□ ストッパーと安全装置

捕獲個体の逃走防止と作業中の事故防止に不可欠です。



ストッパー



安全装置

▼ 獲物の特徴に合わせて、仕掛けを選ぶ

□ 一般的な仕掛けの種類



獲物の体高
に合わせて調節



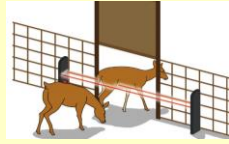
獲物の体重や馬力
に合わせて調節

□ICTを活用した仕掛け(遠隔方式/センサー方式)

※群れごと捕獲するのに有効です。



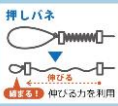
● 遠隔操作で
扉を落とす仕掛け



● 出入りをカウントして
扉を落とす仕掛け

くりわな

バネの種類



作動方式



稼働方向



特徴を知って、効果的に活用しよう

押しバネ



6.5cm

横引き方式



16cm

跳ね上げ方式



21cm

縦引き方式



具体的な捕獲手法の検討と実践例
～わな捕獲編～

捕獲手法を左右する鳥獣の特徴

- 主な活動時間帯は？（夜行性／昼行性）
- 社会構造は？（単独行動／群れ行動）
- 利用環境は？（森林性／草地性／樹上性／水棲etc.）
- 食べ物は？（肉食／草食／雑食）
- 繁殖期や繁殖回数は？
- その他の特徴
（飛べる、跳べる、登れる、掘れる、泳げる、力が強い、
掴める、噛み切れる、体重、体高、足裏のサイズetc.）

【広いスケールでの場所選定】
依存する資源を踏まえた捕獲場所の選定

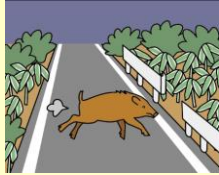


【捕獲場所の絞り込み】

地形を踏まえた移動ルートを検出

※動物の行動には、常に単純かつ明快な理由がある

【シカ・イノシシの捕獲場所選定の例】





【捕獲場所の絞り込み】

行動特性を踏まえた捕獲適地の選択

【アライグマの捕獲場所選定の例】



エサ探索や移動経路として利用する水系



身を隠せる防風林

【捕獲時期の絞り込み】

動物の嗜好とエサ資源環境を踏まえた
捕獲適期の選択

【ニホンザルの捕獲時期選定の例】



嗜好性の高いエサへの
強い執着心



動物の特性を活かした
捕獲手法の選択

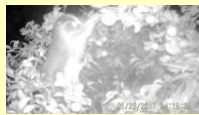
動物の特性を活かした捕獲手法の選択

【ハクビシン編】

- ・夜行性
- ・エサへの執着が強い
- ・果物への嗜好性が高い
- ・樹上性

野外からエサとなるミカンが
減少した時期に捕獲する

○ミカンへの強い執着



動物の特性を活かした捕獲手法の選択

【アライグマ編】

- ・夜行性
- ・手先が器用
- ・エサへの執着が強い
- ・好奇心が旺盛
- ・樹上性

○まき餌の効果

↓ NHK『ダーウィンが来た』より



アライグマの捕獲手法

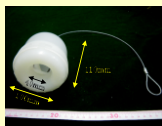
はこわなによる捕獲



エッグトラップによる捕獲



巣箱わなによる捕獲



動物の特性を活かした捕獲手法の選択

【シカ・イノシシ編】

- ・夜行性
- ・群れ行動(母系グループ)
- ・警戒心が強い
- ・学習能力が高く、執着が強い

○餌付けの効果



シカ・イノシシの捕獲手法

【はこわなによる捕獲】



映像資料から学べる教訓

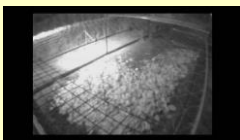
【餌付けによる誘引効果とはこわな捕獲の限界】
【両扉式わなの課題】



ICTを活用した群れ同時捕獲の例

● 遠隔操作で

扉を落とす仕掛け



● 出入りをカウントして

扉を落とす仕掛け



ICTを活用しない群れ同時捕獲の例

鳥獣の行動特性を踏まえて、
入ることはできるが、出ることにはできない構造を考える。

狩猟獣ではない
けれど...

● エサと罠を利用した

カラスの群れ捕獲の例



● 継続的な餌付けによる

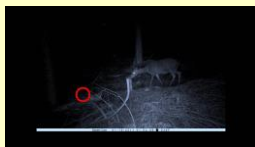
サルの群れ捕獲の例



動物の特性を活かした捕獲手法の選択

【シカ・イノシシ編】

- ・決まったけもの道を利用する
- ・障害物を避けて歩く
- ・警戒心が強く、環境変化に敏感
- ・(特にイノシシに関して)
エサ場では鼻で土を掘り起こす



忘れちゃいけない

安全な止めさし方法について

～シカ・イノシシ編～

保定の重要性

□安全かつ確実に作業するには、
獲物の動きを止めることが重要です。



3方向から保定すれば万全！



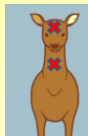
□捕獲個体の保定の例



殺処分

□銃による殺処分

適切な射程距離や威力の銃器を選びましょう。



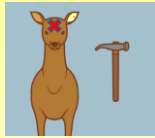
【実施の際の注意点】

- 暴発や誤射の防止
- 矢先の安全確認
- バックストップの確保

※はこわなや困いわなでは、跳弾に十分に気をつけましょう！

□ハンマーによる頭部殴打(失神)

捕獲個体の動きをよく見て、保定が必要か判断する



【実施の際の注意点】

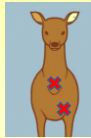
- 深追いは禁物
- 頭蓋を割らない
→失神しにくくなります
- 失神してから近づく



※オスジカやイノシシを処置する際は、必ず保定をしましょう。

□刃物による殺処分

捕獲個体の動きをよく見て、保定が必要か判断する



【実施の際の注意点】

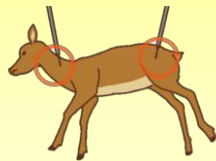
- 深追いは禁物
- 刃先を人に向けない
- よく研いだ刃物を使う



※のど元の太い動脈か心臓を狙って、まっすぐ突き刺しましょう。

□電気による殺処分

電圧やバッテリー残量の確認を



【実施の際の注意点】

- 針先を人に向けない
- 処置の際は、保定を！
- 針をむき出しで運ばない



※過剰な電圧の増幅は、事故のリスクを高めるため推奨できません。

安全管理に向けて
(わな捕獲編)

見回りの際の注意点(わな共通)

ポイント

足元に注意して、ゆっくり行動すること



- 狩猟事故で最も多いのは、
転倒・転落事故です！
(全体の47%、死亡も4件！H24狩猟統計より)
- 雨で地盤が緩んでいる日や
急な斜面のわなを見回る際には
特に注意が必要です！
- 明るい時間帯に見回りましょう！
※万が一に備えて、携帯電話は忘れずに！

安全確認が重要！

はこ・囲いわな

- 獲物がわなから出そうでないか
- わなが壊れたり、ストッパーが外れていないか
- 捕獲した獲物がひどく興奮していないか
- わなの周囲に他の個体がないか



安全確認が重要！

くくりわな

- 足はきちんとくくれているか
- 捕獲した獲物がひどく興奮していないか
- 捕獲された獲物は、どこまで動けるか
- 根付けが折れたり、足やワイヤーが切れそうでないか



足やワイヤーが、切れることも・・・



捕獲は、楽しく安全に！
